

# トヨタ純正

## 減光フィルム



### 取付要領書

このたびはトヨタ純正減光フィルムをお買い上げいただきありがとうございます。  
本書は減光フィルムの取り付け要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

#### 品番

品番	減光フィルム 1台分	08230-15020
----	------------	-------------

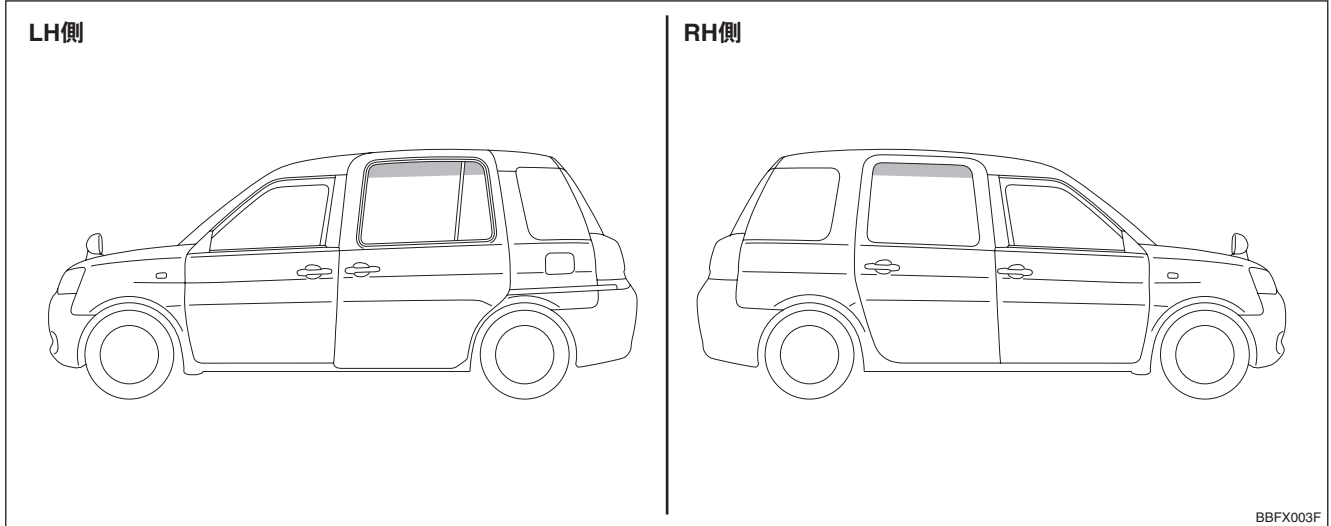
#### 構成部品

No.	品名	補給品番	個数
1			
1	リヤドアウインドウフィルム RH	08230-15021	1
2			
2	リヤドアウインドウフィルム LH	08230-15022	1

## 取り付けに必要な工具等

- 一般工具、スキージー（樹脂製）、スプレー容器、中性洗剤、水道水、スケール、マスキングテープ、ビニールシート、ウエス、ペーパーウエス等

## 取付概要



BBFX003F

## 取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

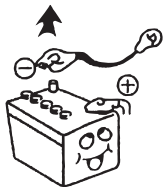
**注意** … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています

**アドバイス** … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

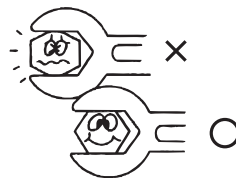
### 取り付ける前に

- バッテリーの（-）側ケーブルをはずす

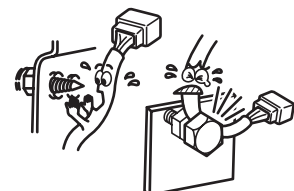


### 部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



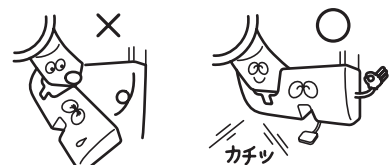
### 作業時は

ゴミ・ホコリの侵入防止の為に

- ガラス両面の汚れを清掃する
- フィルムに施工液をかける
- 風等の無い場所で作業する
- 作業場、作業台を掃除してから作業する

### 取り付け完了後は

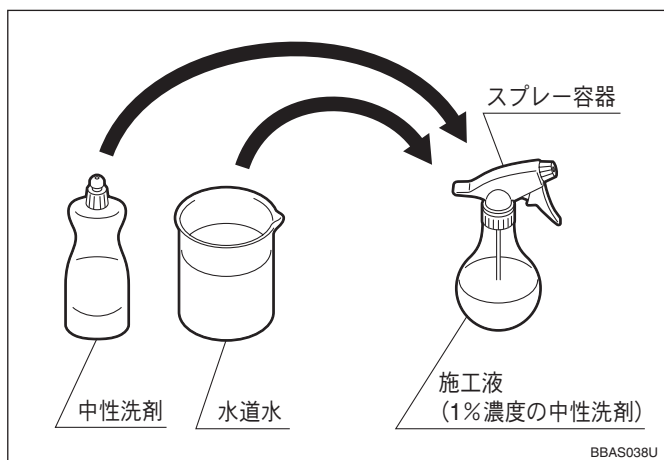
- 車両部品は確実に復元



## 取付作業

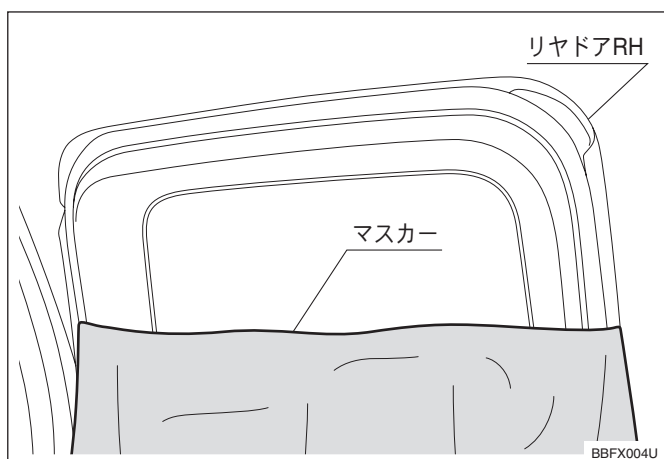
### 取り付け前の準備

1. リヤドアガラス、各 RH・LH の車両外側を清掃する。
2. リヤドアガラスを完全に閉めた状態から、**約 20mm** 下げる。(LH 側)
3. バッテリーの (-) 側ケーブルをはずす。



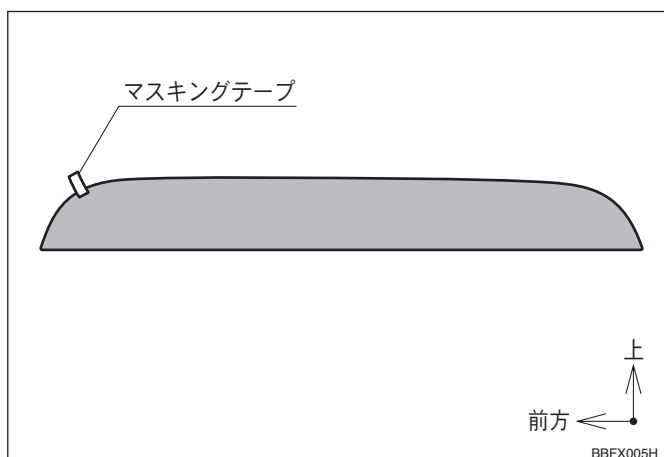
### 施工液の準備

中性洗剤を水道水で 1%濃度に薄める。



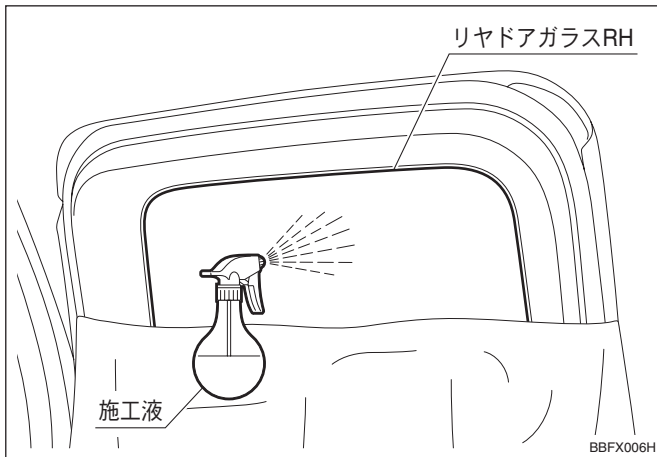
### リヤドアウィンドウフィルム RH の貼り付け前の準備

施工液がリヤドア RH 内部に垂れるのを防ぐ為に、マスカー等でリヤドア RH を覆う。



### リヤドアウィンドウフィルム RH の取り付け

1. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

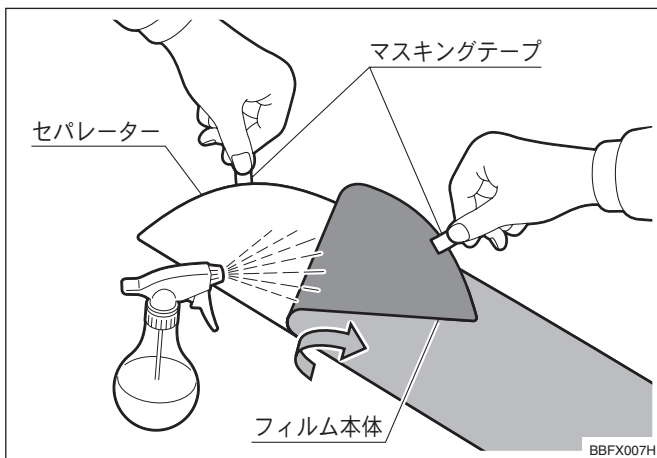


2. リヤドアガラス RH 室内側に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

### 👉 アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

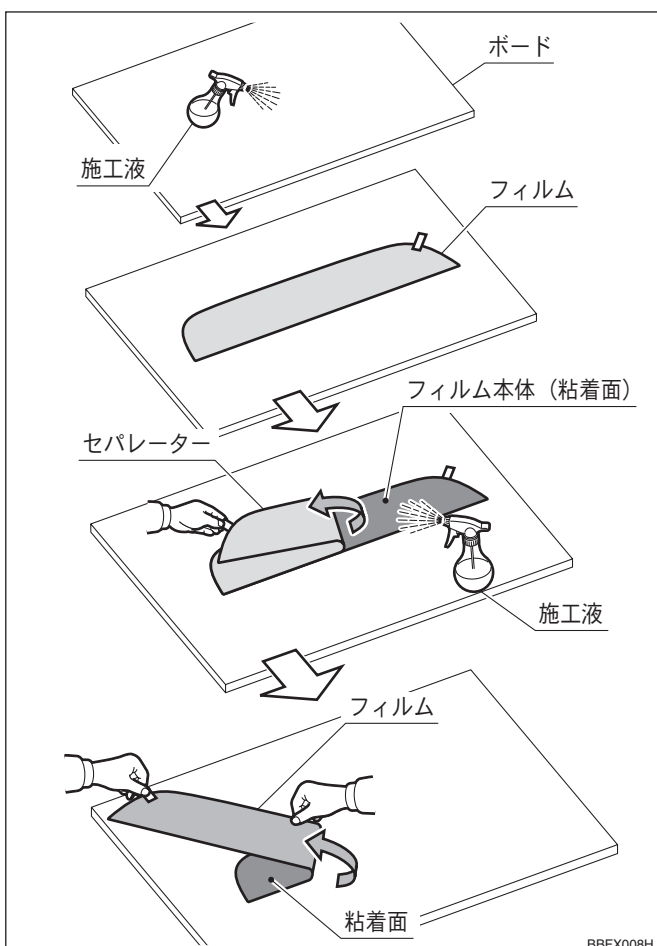
3. リヤドアガラス RH 室内側に再度施工液をスプレーする。



4. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

### 👉 アドバイス

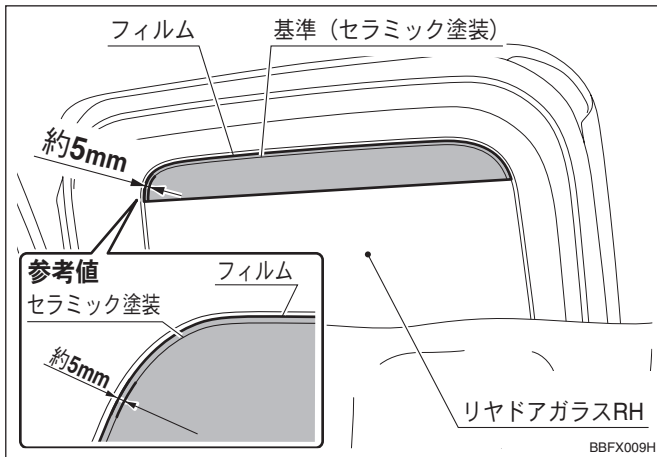
- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。
- (2) リヤドアガラス RH 及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



### 👉 アドバイス

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと作業を容易に行うことができます。

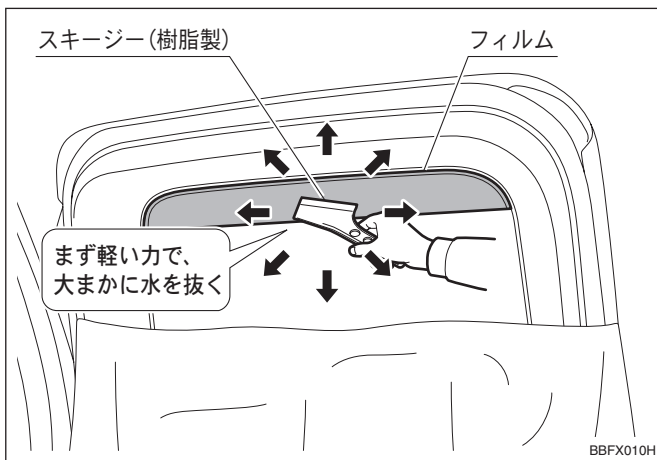
1. ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる恐れのない平面をリヤドア RH 近くに準備します。
2. 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、リヤドアウインドウフィルム RH の本体側を平面部に貼り付けます。
3. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、貼り付けてあるフィルムからセパレーターを全て剥がします。
4. リヤドアウインドウフィルム RH の上端側の一方を片手で持ち、フィルム本体を平面から剥がしながら粘着面が自分の体と反対側になるように、両手で上端両サイドを持ちます。
5. リヤドアウインドウフィルム RH の粘着面をリヤドアガラスに取り付けます。



5. リヤドアウインドウフィルム RH をリヤドアガラス RH に対し、左右均等に取り付ける。

**👉 アドバイス**

図中の参考値は、あくまでも目安です。フィルムとガラスのセラミック塗装部をラップさせることを優先してください。



6. フィルム表面とスキージー (樹脂製) の両方に施工液をスプレーする。

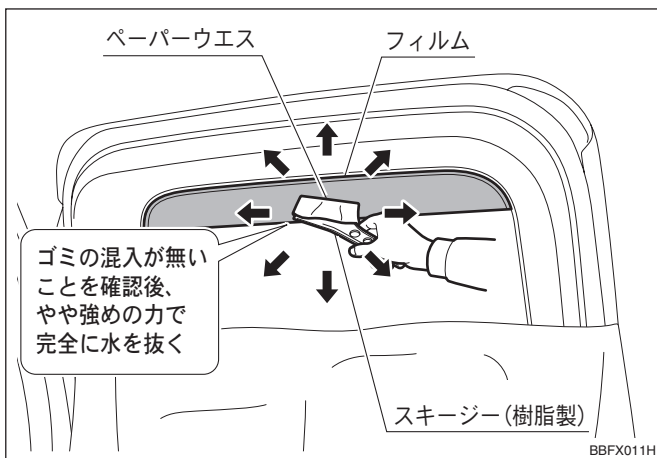
**👉 アドバイス**

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

7. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー (樹脂製) で軽くフィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

**👉 アドバイス**

最初はフィルムがずれないように、力を加減してください。



8. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。
9. フィルムの左右と上端がセラミック塗装と重なっていることを確認する。

**👉 アドバイス**

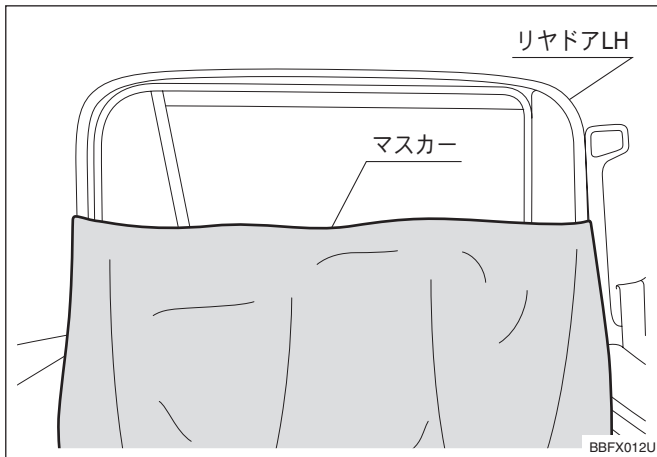
フィルムが左右均等であることをスケール等で確認してください。

10. スキージー (樹脂製) に吸水性のペーパーウエスを巻く。
11. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー (樹脂製) でやや強めにフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

**👉 アドバイス**

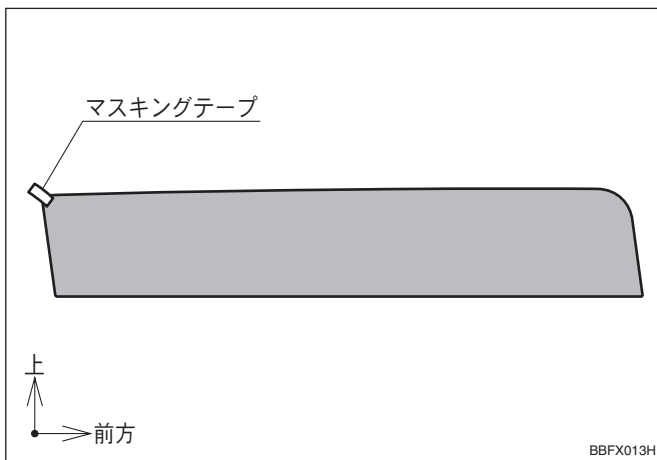
フィルムがずれないように、作業をしてください。

12. 作業終了後、リヤドア RH に貼り付けたマスキータグを取りはずす。



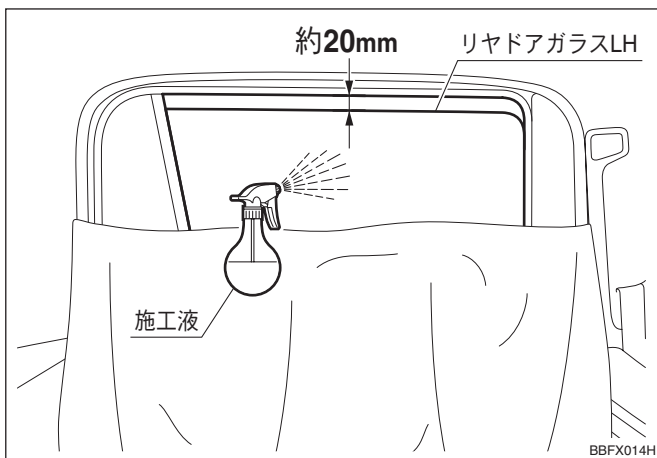
### リヤドアウインドウフィルム LH (大) の貼り付け前の準備

1. リヤドア LH を閉める。
2. 施工液が車室内に垂れるのを防ぐ為に、マスキングテープ等でリヤドア LH を覆う。



### リヤドアウインドウフィルム LH (大) の取り付け

1. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

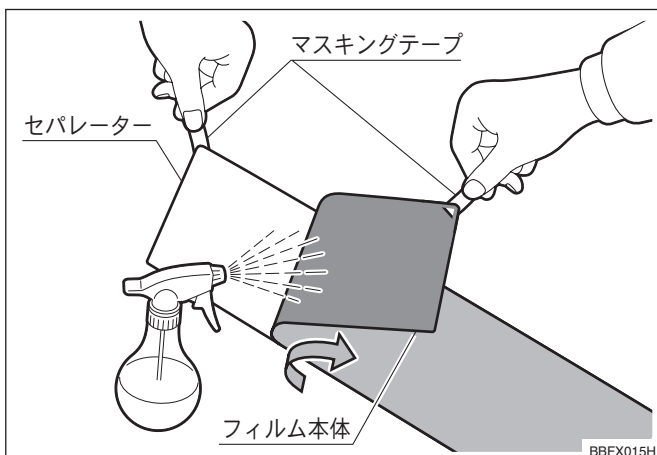


2. リヤドアガラス LH が約 20mm 下がっていることを確認する。
3. リヤドアガラス LH 室内側に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

#### 👉 アドバイス

- (1) 施工液が車室内に垂れても大丈夫なように、ビニールシート等でカバーをしてください。
- (2) フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

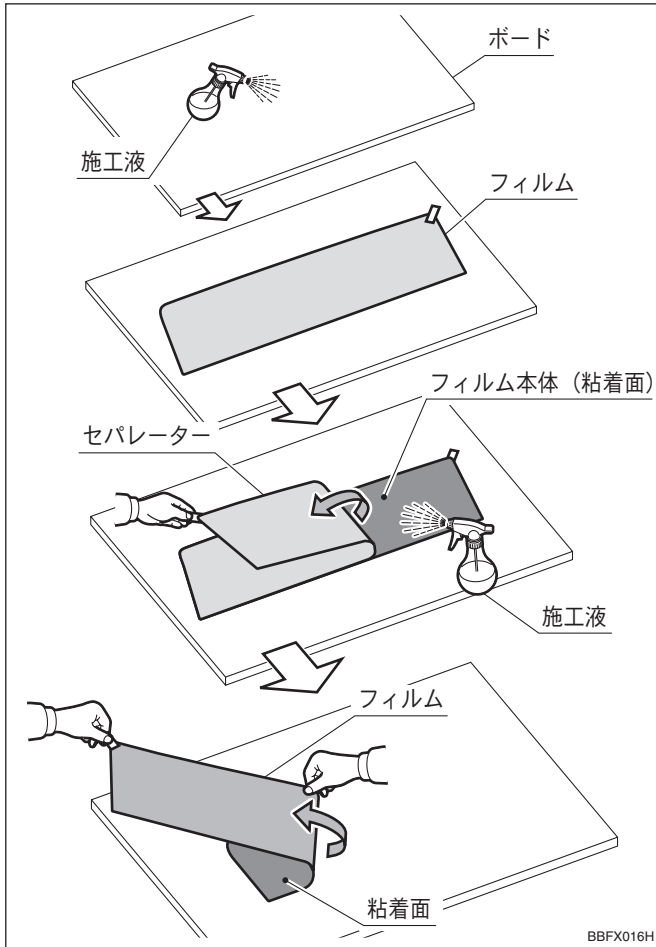
4. リヤドアガラス LH 室内側に再度施工液をスプレーする。



5. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

#### 👉 アドバイス

- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。
- (2) リヤドアガラス LH 及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



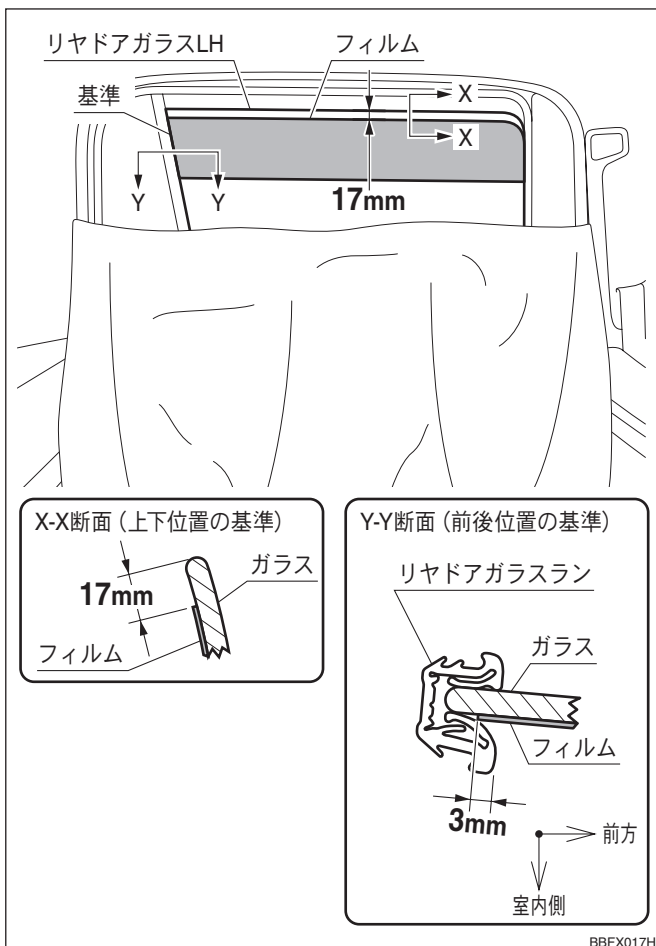
BBFX016H

6. リヤドア LH は閉の状態で行うため、左図に示す作業はリヤドア RH 側で行ってください。

### 👉 アドバイス

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと作業を容易に行うことができます。

1. ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる恐れのない平面をリヤドア RH 近くに準備します。
2. 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、リヤドアウインドウフィルム LH (大) の本体側を平面部に貼り付けます。
3. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、貼り付けてあるフィルムからセパレーターを全て剥がします。
4. リヤドアウインドウフィルム LH (大) の上端側の一方を片手で持ち、フィルム本体を平面から剥がしながら粘着面が自分の体と反対側になるように、両手で上端両サイドを持ちます。
5. リヤドアウインドウフィルム LH (大) の粘着面をリヤドアガラスに取り付けます。



BBFX017H

### 👉 アドバイス

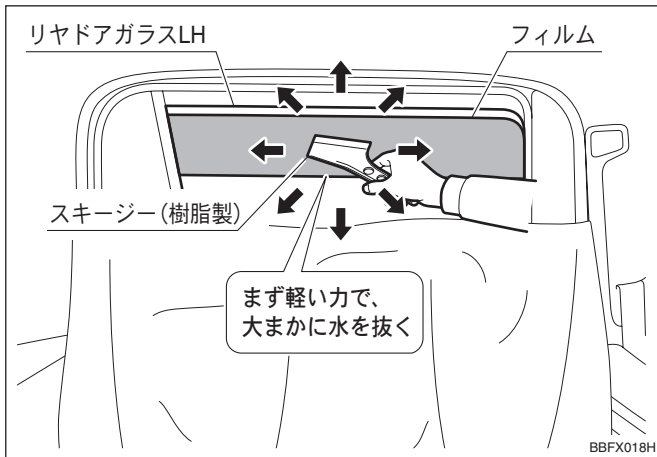
あらかじめ、ガラス外側から 17mm の位置にマスキングテープで位置出しをしておくと、フィルムを容易に貼ることができます。

7. ガラス上端からフィルム上端が均等に 17mm (左図 X-X 断面) の位置になるように取り付ける。

### 👉 アドバイス

ガラス以外の部分にフィルム本体が触れないように取り付けてください。

8. ガラス上端とフィルム上端の間隔を 17mm に保ったまま、フィルム後端を左図 Y-Y 断面に従い調整する。



9. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

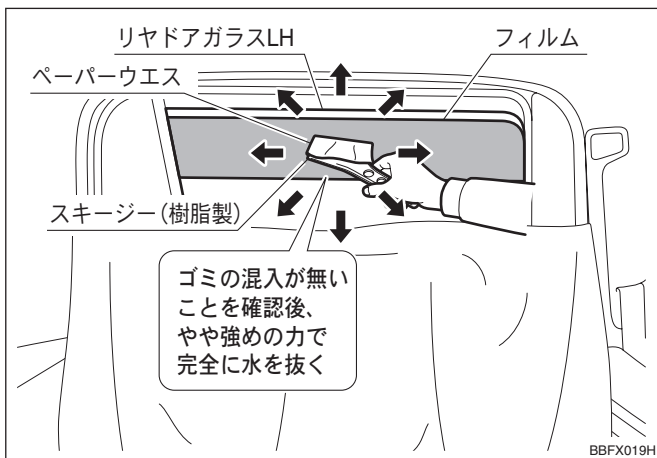
**👉 アドバイス**

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

10. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

**👉 アドバイス**

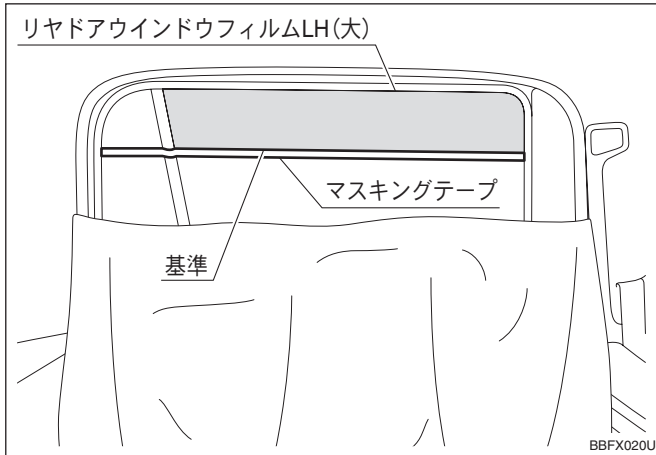
最初はフィルムがずれないように、力を加減してください。



11. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。
12. フィルム上端がガラス上端から **17mm** 空いていること及びフィルム後端がリヤドアガラスラン前端に **3mm** 入り込んでいることを確認する。
13. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパーウエスを巻く。
14. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強め**にフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

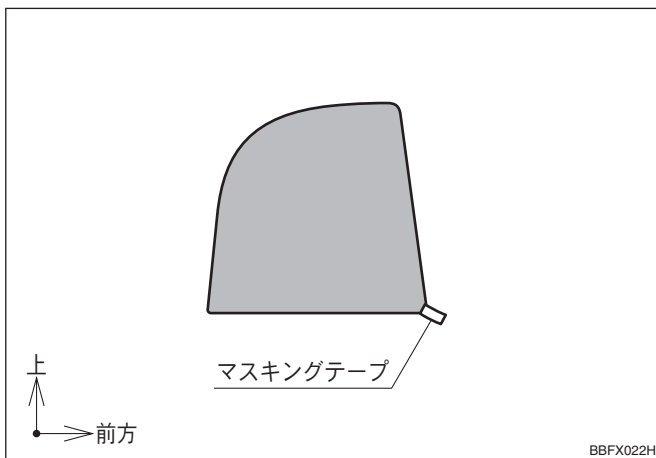
**👉 アドバイス**

フィルムがずれないように、作業をしてください。



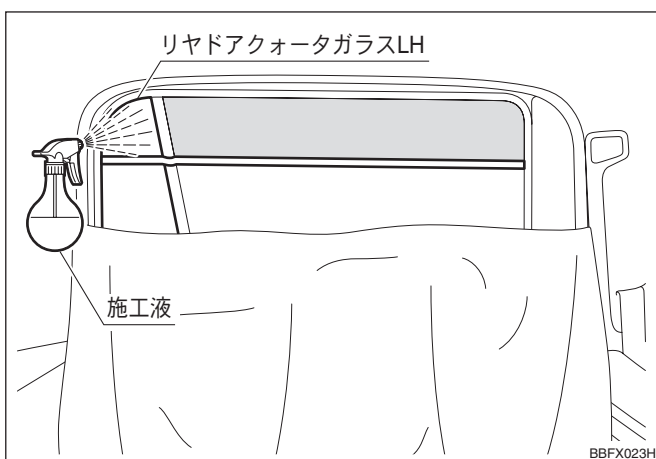
### リヤドアウインドウフィルム LH (小) の貼り付け前の準備

1. バッテリーの (-) 側ケーブルを取り付ける。
2. リヤドアガラス LH を一番上まで上げる。
3. バッテリーの (-) 側ケーブルをはずす。
4. リヤドアウインドウフィルム LH (大) の下端に合わせ、マスキングテープをリヤドアクォータガラス LH まで貼り付ける。



### リヤドアウインドウフィルム LH (小) の取り付け

1. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

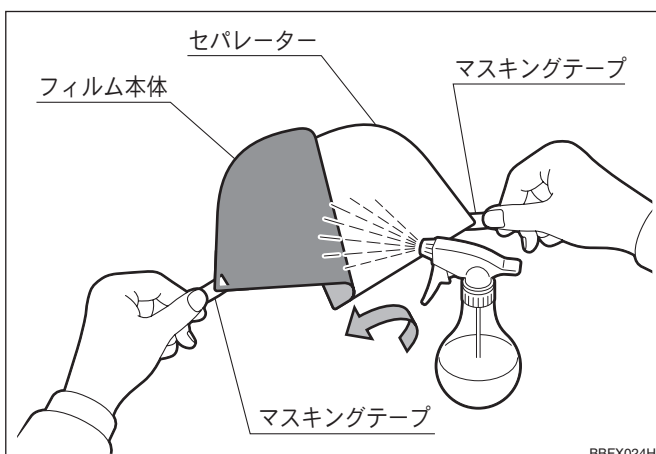


2. リヤドアクォータガラス LH 室内側に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

#### 👉 アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

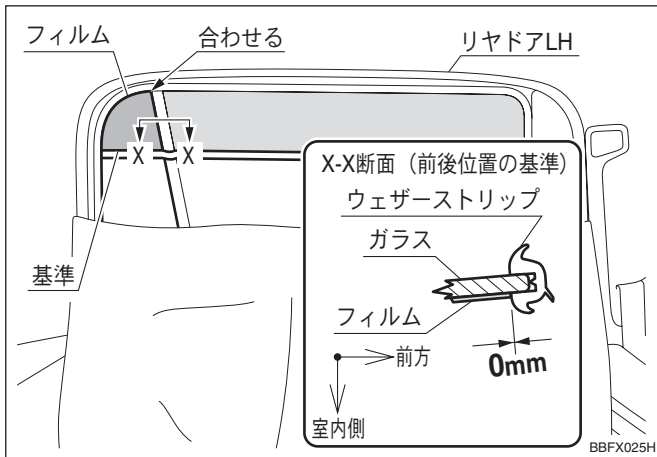
3. リヤドアクォータガラス LH 室内側に再度施工液をスプレーする。



4. マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

#### 👉 アドバイス

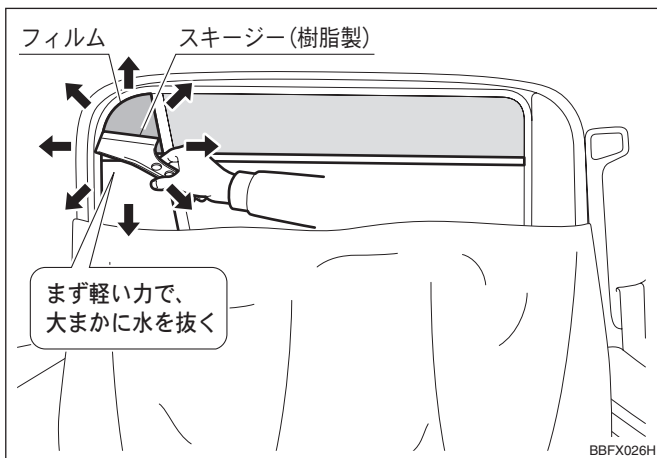
- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。
- (2) リヤドアクォータガラス LH 及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



5. 前後の基準となるフィルム前端部（左図 X-X 断面）とウェザーストリップ端部との間隔を均等に **0mm** に保ち、フィルム前端角部をウェザーストリップ前方上端に接するまでスライドさせ、フィルム下端部をマスキングテープ上端部に合わせて取り付ける。

#### 👉 アドバイス

フィルム上端にて、ウェザーストリップ端部との隙間が生じることがありますが、気泡や水抜きのための隙間ですので、問題ありません。



6. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

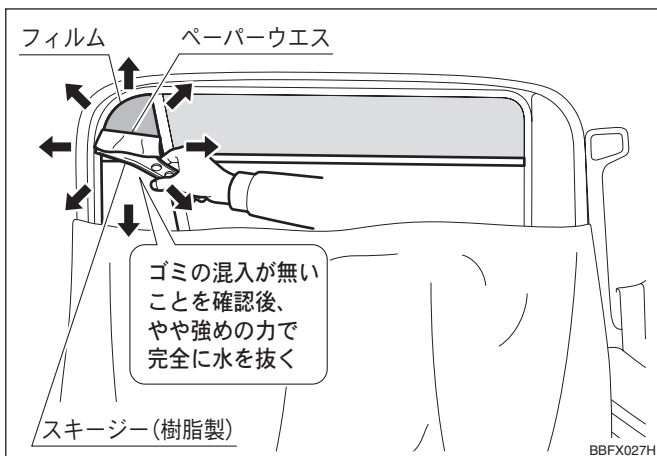
#### 👉 アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

7. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で軽くフィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

#### 👉 アドバイス

最初はフィルムがずれないように、力を加減してください。



8. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。  
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。
9. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパーウエスを巻く。
10. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）でやや強めにフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取除く。

#### 👉 アドバイス

フィルムがずれないように、作業をしてください。

11. 作業終了後、リヤドア LH に貼り付けたマスキア及びマスキングテープを取りはずす。

## 復元作業

- ・付着した施工液をふき取ってください。
- ・取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

### 注意

- (1) 復元作業は、車両部品の損傷や、車両ハーネスの噛み込みに充分注意してください。
- (2) フィルムのズレ防止の為、フィルム貼り付け後 20 分程度は、ドアガラスの昇降を避けてください。

### バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

## 取り付け完了後の確認

### 取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷を付けていないことを確認してください。
3. ドアロック、パワーウインドウ（各ドア）が正常に作動することを確認してください。